

生徒の 生徒による 生徒のための 校則の見直し ～臨時生徒総会を開催～

社会のルールや校則って
はんであるんだろう？

みんなが楽しく、
協力して過ごすため
みんなが平等に、
平和に暮らすため

みんなが平等に
楽しく学校生活を
送れるようにするため

社会のルールや校則って
はんであるんだろう？

誰もが安心して安全に
過ごすため
学校にまじりこ

2月6日(火)の午後、本校の「校則見直しプロジェクト」の最終段階である臨時生徒総会が開かれました。ここまでには、1学期の道徳の授業で「社会のルールや校則って何であるんだろう」ということから決まりについて考え、2学期には生徒手帳に載っている「生活の基準」の内容を確認し、校則アンケートをとりました。生徒からは現在の校則について反対意見がほぼ出てきませんでした。3学期には、校訓にある「自主」と

「制服ってなんであるのだろう」という生活委員会からの投げかけに対して、クラスやブロックで話し合いをして、学校の決まりについて時間をかけて考えてきました。そして、生活委員会が新生徒会本部に学校の決まりについて臨時生徒総会を開いてほしいと要望し、臨時生徒総会の開催が実現しました。

総会当日は、「自主」「制服ってなんであるのだろう」という2つの議題について、全校生徒が真剣に話し合い、活発な意見交換が行われました。議題についての結論は出ませんでした。とても有意義な話し合いの場となりました。



臨時生徒総会での話し合いの様子

【生徒の感想から】

- ・校則は、学校生活を楽しく過ごすために必要なことだと思った。そして、集団での意識をつけることや、社会に出てルールを守ることにつながっていくと思った。
- ・自分のブロックだけでなく、他のブロックとの話し合いを通して、より校則についての理解を深めることができた。特に、最後の議題では制服を着る意味について、より深く考えることができた。
- ・校則の意義や必要性について考えたことで、これからの生活態度や身だしなみに気をつけようと思った。また、他の人と意見を交流したことで、自分にはない新しい考えを知るきっかけになったので、自分たちで考え、話し合うことはとても大切なことだと感じた。
- ・自主とは、善悪を判断し自ら行動することだと話し合いを通じて実感できたので、私もこれに基づいて生活できるようになりたいです。また、制服については制服の必要性を考えた上で着用していきたいです。その他も、ブロックや全校で話し合い、充実した時間になったと思います。

心強い援助を受けました ～地建工業さんが除雪作業をしてくれました～

2月5日(月)の昼前から降り始めた雪はたちまち積もり、本校では6校時終了後に一斉下校の措置を、翌日6日(火)は登校時間を遅らせる措置をとりました。この降雪によって、校内もかなりの積雪があり、職員総動員で雪かきをしましたが、まだかなりの雪が残っていたので困っていました。すると、地建工業さんから「必要であれば学校の雪かきに社員を派遣します」との申し出がありました。学校からも派遣要請をしたところ、たくさんの方の社員の方が除雪道具や重機を使って、生徒の安全のために長時間作業をして校内や周辺道路の除雪をしてくれました。地建工業さん、本当にありがとうございました。

上条中の新たな伝統!? ～盛り上がった上条駅伝～

2月2日(金)の放課後、本校陸上部が主催した上条駅伝が昨年度に引き続き行われました。1チーム5人編成で合計5kmのタイムトライアルレースに、1・2年生の運動部を中心に、21チームが参加して大いに盛り上がり、結果は以下のとおりとなりました。

大きな大会が少ない冬場に下半身や持久力強化をし、春からの大会で各部が好成績を残せるように、陸上部がこの駅伝を企画してくれています。とても意義ある取り組みだと思いますので、上条中の新たな伝統となっていくかも知れませんね。



デッドヒートをくりひろげました

男子

- 1位 陸上部 A
- 2位 陸上部 B
- 3位 陸上部 C



女子

- 1位 陸上部
- 2位 バスケット部
- 3位 卓球部



ご協力ありがとうございました ～今年度最後のあいさつ運動～

2月7日(水)から9日(金)の間、今年度最後の第3回あいさつ運動を実施しました。本来は2月6日(火)から4日間の実施予定でしたが、積雪の影響により6日は中止にして3日間実施しました。積雪のため足元が悪い中にもかかわらず、上条中正門での活動に地域やPTAの方々延べ28名のご協力をいただきました。また、地域の方々には自宅付近でも運動に参加いただき、ご多用中のところ、誠にありがとうございました。生徒の皆さんも回を重ねるごとに積極的にあいさつ運動に参加していました。

地域やPTAの方々にご協力いただいたあいさつ運動を通して、声を出してあいさつする生徒がとても多くなってきたように感じます。来年度も、このあいさつ運動は引き続き実施していきますので、地域の方々のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教科等横断的に防災教育を学んでいます ～避難所体験、救急救命講座～

2年生の保健体育の授業で、甲府市地域防災課の職員の方を講師として招き、2月8日(木)3・4校時に「避難所体験」、2月15日(木)の3・4校時に「救命救急講習」をそれぞれ行いました。とても和やかな雰囲気の中で、災害についての説明を受けた後、「担架でのけが人の搬送」や「人工呼吸の実施方法」などの体験学習を行いました。2年生の生徒たちは、真剣に説明を聞き、前向きに体験学習に臨んでいました。

東日本大震災や能登半島地震などでは、災害の避難時や避難所での生活で、中学生が大人に交じって地域の大きな力となっていることが報道でも取りあげられています。生徒の皆さんは、各教科の学習を通して行われる防災教育で学んだことを、非常時に生かせるようにしてほしいと思います。

